

桃吉郎  
のまち岡山

# 地域防災力向上に 向けた説明会

【ハザードマップの活用について】

令和5年度版

岡山市危機管理室

**毎年**のように

**日本全国**で

**大きな災害**

が起きています。

ただし、

ハザードマップを見れば、

どこでどのような  
被害が起きるのか？

を予測できる

# ハザードマップとは？

災害が発生したときの、

- 危険な地域
- 災害時の避難場所 など

を地図にまとめたもの。

# ハザードマップの種類

- 洪水・土砂災害

(100~150年に1回程度の大雨で、堤防が複数決壊)

- 津波

(南海トラフ地震発生時の津波で、堤防が全て決壊)

- 高潮

(平成16年台風第16号の規模に基づく想定で、堤防は決壊なし)

- **内水**

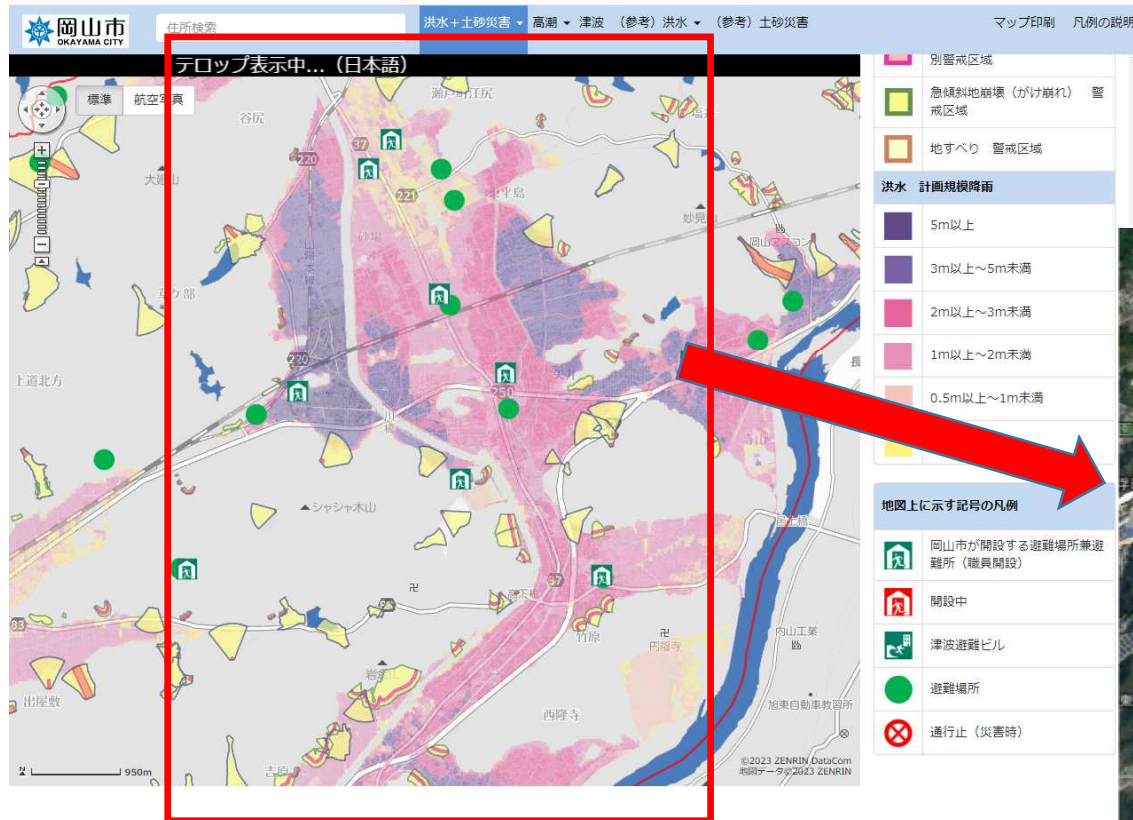
- **地震のゆれやすさ**

- **液状化**

- **地震の危険度 (建物被害)**

# ①平成30年7月豪雨の被害（岡山市東区沼）

ハザードマップの浸水想定

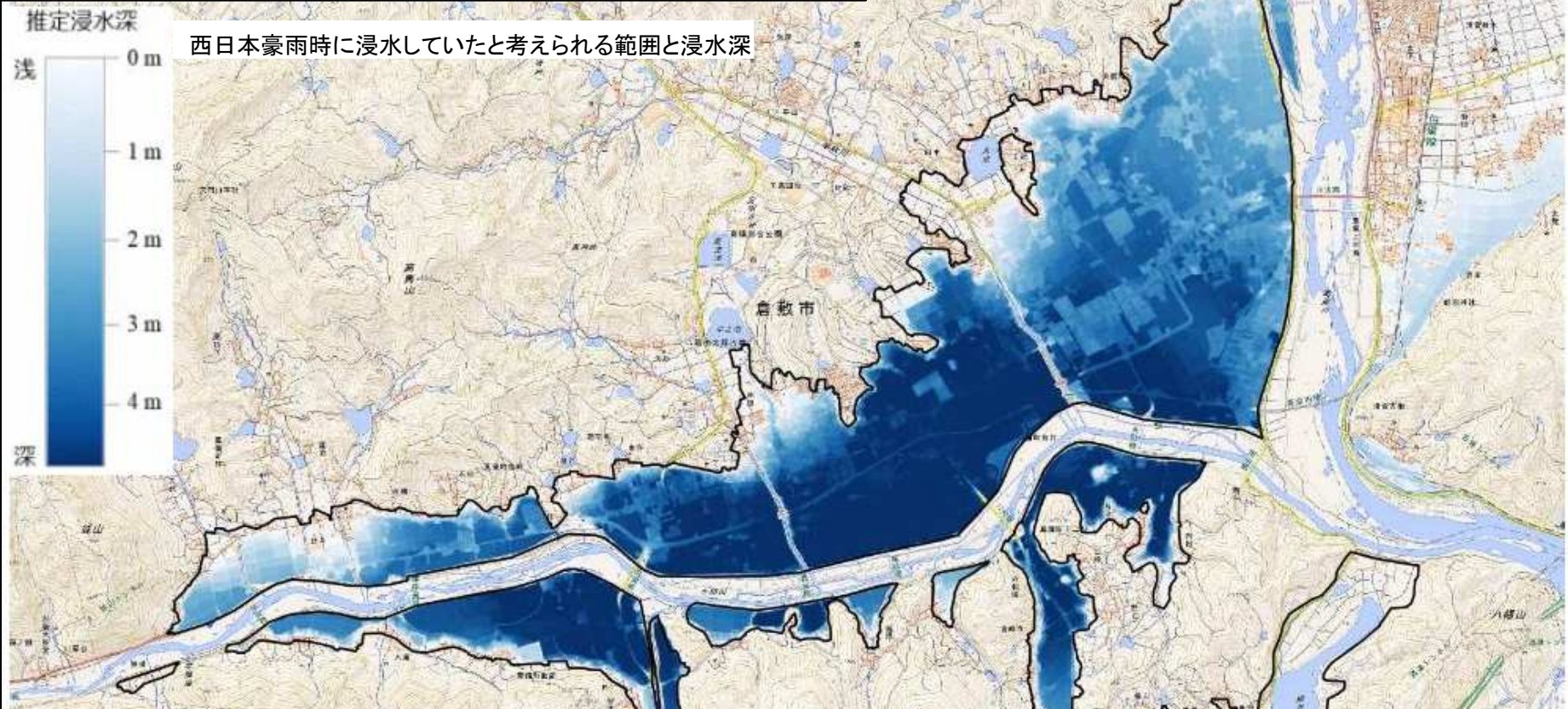


旭川水系砂川の浸水範囲



## ②平成30年7月豪雨の被害（倉敷市真備町）

□ ハザードマップで公表されていた浸水範囲



ハザードマップで

災害リスクがあると言われていた場所で、

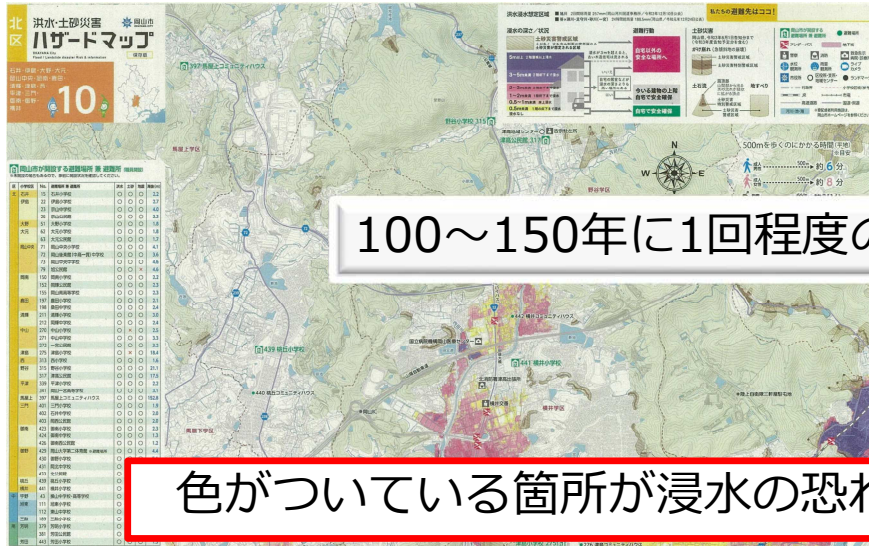
実際に被害が起きていた！！





**ハザードマップから  
地域の災害リスクを知る！**

# 洪水・土砂災害ハザードマップ



100～150年に1回程度の大雨で、堤防が複数決壊

色がついている箇所が浸水の恐れがある区域

土砂災害による危険なエリア

